

隣町を助けよう！！支援ボランティア 報告と御礼

お預かりした善意の品々を被災された皆様にお届けいたしました！

3月31日の朝刊折込で「隣町を助けよう」をスローガンに下着などを中心にご提供を呼び掛けたところ、早速その日から数多くの善意が寄せられ、反響の大きさとスピードに驚かされました。当初は「下着類」と「電気ポット」や「長靴」に限定した募集でしたが、これ以外の衣類や日用品まで多数お持ちいただき、これら物資を提供いただいた方は約1000人となりました。これら多くの皆様の善意に応えるため、私達スタッフは、山元町や亙理町の避難所を訪問し必要数量などを聞き取り、仕分け作業と並行して4月2日から順次避難所に直接配達を開始しました。そして、4月3日からは角田市の災害本部において山元町の避難所の皆さんをマイクロバスで送迎し、椿の湯や内町荘のお風呂で入浴サービスを始めたことに伴い、当初の計画にはなかったことですが、着替え用として下着やその他必要な衣類等を提供させていただきました。また、当初は物資の受付場所としてのみウェルパークの一角をお借りしていましたが、入浴サービスが始まって以降は、施設側のご厚意により下着や衣類、日用品なども陳列するスペースを確保していただきましたので、お陰様で欲しいものを自由に選ぶことができる洋品店のような雰囲気被災者の皆さんにも大変喜んでいただきました。それに、時にはスタッフが民間のマイクロバスを手配し、避難所から送迎付きで必要物資を選んでいただいたり、または、被災地から角田市内に避難してこられた方にも自由にご覧いただき、お持ち帰りいただくなど、物資が1日でも早く必要としている人の手元に届くような工夫をさせていただきました。4月10日までということでしたスタートしましたが、好評につき17日まで延長し一応の区切りをつけさせていただきましたので、ここで、これまでの経過報告をさせていただきますとともに、あらためて物資をご提供いただいた多くの市民の皆様をはじめ、角田市及び角田市社会福祉協議会などご協力いただきました全ての関係者の皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。

今後とも「私達ができることは何か」ということを考えながら、できることを実行していきたいと思えます。

隣町に元気を届ける実行委員会

代表 三 由 誠

■物資の受入れと払出しの状況

平成23年4月17日現在

	受入れ総数 (お預かりしたもの)	うち被災された方へお届けした数	
		避難所等へ届けたもの	ウェルパーク渡し
下着類	約17000点	6862点	約5800点
電気ポット	71点	18点	34点
長 靴	91点	39点	52点
その他衣類 日用品等	約8300点	615点	約3000点
合 計	約25500点	7534点	約8900点

お預かりしている物資がまだありますので、裏面のお知らせとおり他の支援団体と
合同企画により被災者の皆様にご提供の機会を設けさせていただきます予定で